



東海林一樹議員

Q町内に特老施設の早期建設を

A必要だがどんな施設がよいかよく検討して進めていく

問 町民の高齢化が進んでおり、65歳以上の高齢者は3分の1となっている。そして、要介護、要支援認定者が474人（1月末現在）おり、なおかつ介護老人福祉施設などに入りたくても入れない人が、この町で50名を超えている。しかしながら、町としては、一部事務組合としての施設はあるものの町内には一つもない。このことを町長はどう思うか。

町長 藤田病院の南側にあつかし荘があり、認識は国見町という話を聞いているが、住所は桑折町なのでないと言えはそのとおりである。介護施設に入りたいたいという待機者もいることも事実であり、町内にも施設は必要と認識している。

問 2年前ぐらいに宮城県の業者が国見町に施設を造りたいという話があり、町には計画がないので駄目だったという経緯があったが、あれはどういうことだったのか。

町長 それぞれの町には、高齢者福祉計画、介護保険計画があり、それらと介護保険料が密接な関係にあるので、23年までの計画が載っていないので造れないということである。

問 先日、信頼できる県職員の方々がお見えになり、今なら、町が手を挙げると県の認可はすぐ下りるとい話をいただいた。条件として、土地の提供はあるが、運営や施設を造るノウハウは任せて欲しいとのこと。大変ありがたい話と思うが、町長はどう思われたか。

町長 話をいただくのは大変ありがたいが、施設にもいろいろなタイプや規模があり、国見町にはどれがいかに見極めなければならぬ。ただ、何らかの施設は必要である。

問 私はぜひ必要と思っている。建設する場所だが、小坂緑住区がいいと思う。確かにここは当初分譲住宅地として開発したが、板橋ニュータウン

町長 が売れ残っており、新たに宅地造成してもとても売れるとは思えない。これを用途変更して、福祉施設を造るとなれば、県でも大義名分がつくのではないか。

町長 用途変更にはいろいろ手続きを踏まなければならないが可能ではあると思っている。

問 施設ができれば、介護士、看護師、栄養士、調理員など100名の雇用を考慮しており、雇用創出にもつながる。また、施設で使う

町長 現時点で23年度というのは無理な話であるが、経済危機対策以外でも老健施設や特老ホームなどを造る制度はあるので、国見町にはどういのがいいのかよく検討して、進めていきたい。

食料、日用品、燃料、そういったものも地元から調達し、地域の活性化にもなり、ぜひ早急にやってもらいたい。急げば23年度オープンも可能だと言っておりますが、町長、いかがか。



昨年9月12日に行われた敬老会（小坂地区）